



いか釣り漁船火災予防注意事項

10月に多発しましたいか釣り漁船の火災防止措置について、対策の一例を次のとおりまとめました。参考にしてください。

いか釣り漁船火災予防注意事項

- ・ **集魚灯安定器結線接続部やバッテリーの結線接続部の定期点検**
定期的に点検し締め直しやゴミ、油の除去につとめましょう！
- ・ **停泊時、定期的な集魚灯の点灯試験の励行**
集魚灯の安定器が異常に加熱していないか？安定器の冷却ファンが回っているか？焼ける臭いがしないか？等を確認しましょう！
- ・ **主機に負担がかかった際の注意事項**
機関音が急に变化したり集魚灯の光力が急に变化した場合は安定器に異常が発生し主機に負担がかかった可能性が高いので、継続使用せず業者による点検を実施しましょう！

漁船からの海中転落死亡 行方不明者急増！！

11月に入り漁船からの海中転落が連続して4件発生し、3人が死亡、1人が行方不明という痛ましい結果となっています。

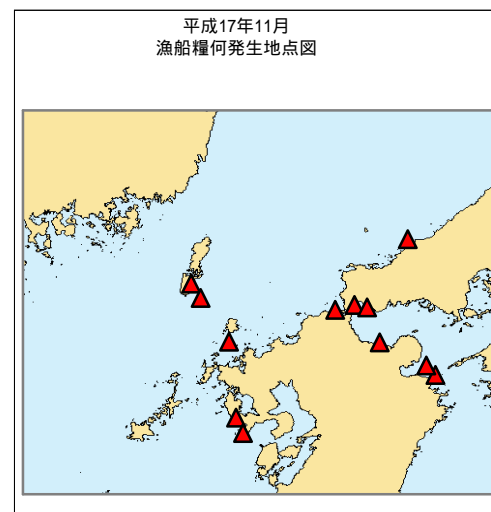
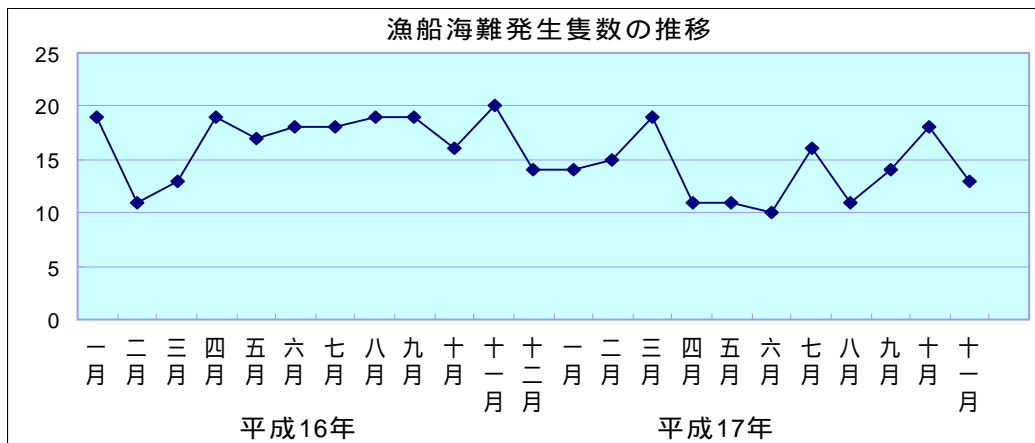
当管内では、本年に入り11月末までに、漁船からの海中転落者が16人に達し、このうち14人の方が死亡・行方不明となっています。海中転落者16人中、ライフジャケット着用者は1人で、この方は救助されています。

海に浮いてさえいれば救助される確立は格段に上がります。
ライフジャケットは必ず着用しましょう！

平成17年11月

合計13隻

種類別	
衝突	4
乗揚	2
転覆	0
浸水	0
推進器障害	0
舵障害	0
機関故障	1
火災	1
爆発	0
行方不明	0
運航障害	4
安全障害	0
その他	1
13	
県別	
山口県	2
福岡県	3
佐賀県	1
長崎県	4
大分県	3



県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。